

令和4年度 城東小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤とし、自ら考え 正しく判断し 行動できる 豊かな心を持ち、知・徳・体の調和の取れた心身ともに健やかな人間性豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・ 心豊かで思いやりのある子（やさしく）
- ・ よく考えすすんで学ぶ子（かしこく）
- ・ 健康で明るくたくましい子（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

教育目標の具現化を図り、児童が、充実した学校生活を送れるように、教職員が一丸となって取り組む学校づくりをする。

～「一人一人のよりよい未来のために、子供たちの今に、全力でかかわる『チーム城東』」～

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

教職員一人一人が主体性をもち、協力して取り組む学校組織を構築する。

- (1) 教職員一人一人の力に裏打ちされた「和」を基盤とし、同僚性を発揮して互いに学び合い切磋琢磨する明るい学校づくりに努めるとともに、児童に寄り添う時間の充実に努める。
- (2) 児童の実態や地域の要望、時代の流れに沿った教育的動向等を踏まえるとともに、地域協議会及び家庭・地域の教育力を生かした教育活動の充実や教育諸活動の地域への周知等を通して、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。
- (3) 道徳科や特別活動を中心にして全教育活動において、児童のよさを認め励まし合い、望ましい人間関係の中で、感謝の心や自己有用感など豊かな心の育成を図る。
- (4) 学習への取組や規範意識、帰属意識など学業指導に努めるとともに、落ち着いた雰囲気の中で、児童が主体的・探究的に学び合う「分かる授業」を展開し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等、学力の向上を図りながら学びに目覚める子供を育てる。
- (5) 学校環境の整備、施設・設備等の意図的・計画的な活用を推進し、安全を確保して教育効果を高める学校環境の工夫に努める。

[旭地域学校園教育ビジョン]

「地域に愛される旭っ子」 ～地域との豊かなかかわりを通して～

地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちを持ち、思いやりをもって接するとともに、元気にあいさつし、ルールやマナーを守るなどの社会性と基礎学力を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できる子供の育成を図る。

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育基本法、学校教育法、学校教育法施行令、学校教育法施行規則、学習指導要領、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、栃木県教育振興基本計画 2025、宇都宮市立学校の管理運営に関する規則、宮っ子未来ビジョン、宇都宮市学校教育推進計画（うつのみやいきいき学校プラン）、宇都宮市学校教育スタンダードの示すところに従い、本校の教育目標の達成を期するように編成する。
- (2) 教育活動全体を通して、児童の発達段階や各教科の特性、学習指導要領の趣旨を生かし、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かで自ら学び考えるなどの「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。
- (3) 特別の教科道徳を要として、学校教育活動全体を通して児童の道徳性の育成を図るとともに、家庭・地域社会との連携を深め、地域の教育力を生かした教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営・・・「チーム城東」の結束
 - ・ 教職員一人一人が主体性をもち、協力して取り組む学校組織の継続・発展と、児童に寄り添う時間の充実（学校運営の適正化）（教職員の資質の向上）（教育課程の改善）
 - 児童の姿を基に、「チーム城東」を合言葉にすることにより、地域・保護者・学校が連携協力した学校づくりを推進（地域とともにある学校づくりの推進）（施設・設備の充実）
- (2) 学習指導・・・子供を鍛える
 - ・ 課題設定やまとめの工夫及び学びあいを通した「分かる授業」による学力の向上（学力の向上）（評価の実施と改善）（特別支援教育）
 - ・ 落ち着いた雰囲気での学習集団づくり及び基礎的・基本的な内容の確実な定着と探究的な学習活動の充実（学びの基盤）（城東っ子の学び「城東スタイル」）（ICTの効果的な活用）
- (3) 児童指導・・・思いやりの心が育つ環境作り、望ましい生活習慣の育成
 - 児童の自主性・よさ・夢が生き、豊かな心をもち進んで明るく元気な学校生活を送れる児童の育成（あいさつ運動等の推進）（教育相談等の充実）（道徳特別活動の充実強化・積極的児童指導の推進）（自然愛護と持続可能な環境作りの推進）
 - ・ きまりやマナーを守り、互いを思いやり尊重し合って行動できる児童の育成（生命尊重と人権教育の重視）（児童指導の充実と望ましい集団づくりの推進）（整理整頓等の推進）
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）・・・習慣化と資質・能力の育成
 - ・ 健康的な生活習慣を身に付け、体力向上・健康安全・情報モラルの向上を目指す城東っ子の育成（健康と体力の向上・食育の推進）（学校安全の徹底）
 - ・ 走・跳・投の向上を意識した教科体育の充実

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

| 項目 | 評価項目 | 主な具体的な取組 | 方向性 | 評価 | | | | | | |
|---|---|---|-----|---|----|----|----|----|-------|-------|
| B | A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 | ① 「学ぶ楽しさを味わい、進んで考え参画する子供」の育成を目指し、児童の学習特性や理解の程度に応じた教材を工夫するなど、児童が意欲を持続でき、且つ分かる授業の研究・実践を推進する。 ② 本時のめあてを毎時間提示するとともに、学習課題に対して終末での振り返りをさせ、定着を子供自身に確認できるようにしていく。 ③ 「考える」「発表する」時間や場を確保したり、話し合いの形態を工夫したりして、自分の思いを進んで表現することができる授業づくりに努める。 ④ 身に付けた知識や情報の活用を図る時間と場を設定し、進んで表現させる。 ⑤ 家庭学習について、宿題だけでなく自主学習に積極的に取り組めるように指導・支援し、学習習慣の定着、学習内容の広がりを図る。 | B | 【達成状況】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>92.8%</td> <td>90.6%</td> </tr> </tbody> </table> | | R3 | R4 | 児童 | 92.8% | 90.6% |
| | | | | | R3 | R4 | | | | |
| 児童 | 92.8% | 90.6% | | | | | | | | |
| ・児童の肯定的回答は目標数値の85%を上回った。 【次年度の方針】 ・引き続き、城東っ子の学び「城東スタイル」の元、ICTを活用し、分かる授業、学ぶ楽しさを実感できる授業を展開し、学習課題確認、振り返りの充実を図る。 ・朝のパワーアップタイムにおいて、朝登校したら、児童が自分から進んで始められるよう、事前の準備、支援をしていく。 ・授業中の「聞く・話す」学習を充実させる。考えを書く時間を確保し、児童が自信をもって自分の考えを発表できるよう、支援する。また、ノート指導においては、低・中・高学年のめあてを提示し、自分の考えをノートに書けるよう支援する。 ・家庭学習については、宿題の量や内容の精選をして、自主学習に積極的に取り組ませるなどの指導・支援を推進し、学習習慣や学習内容の定着を図る。また、AI型個別学習ドリルの効果的な活用について検討を進める。 | | | | | | | | | | |

A2 児童は、思いやりの心をもっている。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

①体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを涵養する。

②人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。

③児童会活動や縦割り班活動、縦割り班による清掃を通して、相手の立場を考えて思いやる心を育む。

B

【達成状況】

| | R3 | R4 |
|----|-------|-------|
| 児童 | 89.1% | 88.7% |

・児童の肯定的回答は、目標数値の85%を上回った。

【次年度の方針】

- ・児童会活動で「なかよしプロジェクト」を実施したことは、人権教育において効果的であった。今後も引き続き実施していく。
- ・縦割り班清掃を実施することにより、低学年から高学年まで幅広く関わり合い、良好な上下関係が構築できているため、今後も実施していく。
- ・「さん付け」や温かみのある言葉づかいについて、日々の生活の中で定着できるよう継続的に指導する。

A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」

における肯定的回答

⇒児童 80%以上

⇒教職員 80%以上

⇒保護者 80%以上

①「児童と共に歩む児童指導の充実」を目指し、朝の打ち合わせをすべて放課後に実施するなど、毎朝の時間の指導の徹底を図る。

②始業や終業のあいさつ「語先後礼」や指名された際の返事の仕方、時刻の厳守や集会時のマナー、及び授業中の姿勢（立腰）、廊下の歩き方の指導の徹底を図る。

③「城東っ子のやくそく」の提示、全校集会時に生活目標の指導をすると共に、週末に生活目標に対する評価及び反省をさせ、定着を図る。

④児童に関する情報交換を全職員で行い、指導方針を共通理解して指導に当たる。

*旭学校園共通目標

B

【達成状況】

| | R3 | R4 |
|-----|-------|--------|
| 児童 | 84.3% | 86.8% |
| 教職員 | 83.3% | 100.0% |
| 保護者 | 93.7% | 94.0% |

・児童、教職員、保護者とも肯定的回答は、目標数値の80%を上回ったうえ、昨年度の数値を上回った。

【次年度の方針】

- ・今後も、全校朝会等を機会として、計画的に全体指導を行い、全校同一歩調で「なりたいたい自分になるために」を合言葉にした意識の浸透を図るようにする。
- ・週末に、生活目標に対する評価及び反省をさせるとともに、次週に反省を生かせるようにする。

A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」

における肯定的回答

⇒児童 80%以上

⇒地域住民 80%以上

①「明るいあいさつ」の合言葉の浸透を図りながら、全校朝会等での一斉指導等を行い、あいさつがよくできている児童やクラスを称賛する。

②教職員による率先したあいさつや、代表委員による「あいさつ運動」を継続し、あいさつの徹底を図る。

*旭学校園共通目標

③あいさつについて、日常的な指導に加え、「あいさつ運動」の強調月間を設け集中的に指導するなどして、徹底を図る。

④学校だより等で、家庭や地域でもあいさつを奨励するなどの協力依頼を行う。

B

【達成状況】

| | R3 | R4 |
|------|-------|--------|
| 児童 | 89.6% | 90.6% |
| 地域住民 | 91.7% | 100.0% |

・児童、地域住民とも肯定的回答は、目標数値の80%を上回ったうえ、昨年度の数値を上回った。

【次年度の方針】

- ・「明るいあいさつ」を合言葉に、全校朝会等で、全体指導を行うとともに、「時と場に応じたあいさつ」「先手のあいさつ」の意識化を目指す。
- ・強調月間を設け、地域や中学校と協力して「あいさつ運動」を実施するなど、あいさつを習慣化するための手立てを工夫する。
- ・学校だより等で家庭や地域でもあいさつを奨励するなどの協力依頼を行う。

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。

【数値指標】

全体アンケート

「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

①児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。

②各教科の授業や各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。

③道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、そうした実践に向けた意欲を高める。

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|-------|--------|
| 児童 | 88.6% | 88.7% |
| 教職員 | 83.3% | 100.0% |

・児童の肯定的回答は、目標値の85%を上回った。教職員の肯定的回答は、前年と比べて大きく改善した。

【次年度の方針】

・学校行事や各種検定等に目標をもって取り組みませ、振り返りを重視するとともに、児童の頑張りを称賛する。
・作品掲示物やノート等に温かいコメントを書き、認め励ます指導の充実を図る。
・キャリアパスポートを有効に活用し、道徳や日常の指導においても、児童を認め、励ます指導を心掛ける。

B

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

⇒保護者 85%以上

①児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行う。

②学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。

③児童の「危険予測・回避能力」を高めるため、日常指導における安全指導を充実させるとともに、「交通安全教室」「避難訓練」「安全マップづくり」等を計画的に実施する。

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|-------|--------|
| 児童 | 92.8% | 91.9% |
| 教職員 | 95.8% | 100.0% |
| 保護者 | 91.3% | 92.9% |

・児童、教職員、保護者の肯定的回答は目標数値の85%以上を大きく上回った。

【次年度の方針】

・健康的な生活を送ることができるようになるために、来年度も引き続き感染症予防対策について指導を継続していく。
・感染症対策をしつつ、学校給食や各教科等の関連を図った食に関する指導を行い、児童の食習慣の形成を推進する。
・引き続き、日常の安全指導を行うとともに、避難訓練、安全教室等を計画的に実施し、安全に対する意識を高めていく。

B

【A 5再掲】

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。

【数値指標】

全体アンケート

「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒保護者 85%以上

①宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に育む。

②家庭や地域との連携による体験的活動を実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成する。

③6学年・城東タイム「開け！夢のとびら」の学習を通して、自分の未来をイメージできるようにする。

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|-------|--------|
| 児童 | 88.6% | 88.7% |
| 教職員 | 83.3% | 100.0% |

・児童の肯定的回答は、目標値である85%を上回った。教職員の肯定的回答は、前年度と比べて大きく改善した。

【次年度の方針】

・児童の自己肯定感を高められるよう、なりたい自分の姿を具体的に示させ、それに近づけるように支援を行う。
・キャリア教育の充実のため、外部講師を招き、将来への展望を開く機会を設ける。
・キャリアパスポートを活用し、特別活動や学級活動の活性化を図る。

B

A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

①外国語活動(英語活動)を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

②外国語活動(英語活動)に関する校内研修や授業を相互に見合う機会を充実して指導力の向上を図る。

③外国語活動指導研修を定期的を実施し、授業内容の工夫・改善を図っていく。

B

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|-------|-------|
| 児童 | 87.2% | 86.8% |
| 教職員 | 87.5% | 95.7% |

・児童、教職員ともに肯定的回答は数値目標の85%を上回った。

【次年度の方針】

・ALTとの事前打合せを充実させ、担任やALTと児童、児童同士が楽しくコミュニケーションを図れるような授業を計画し、実践していく。

・教職員の校内研修において、授業力向上に向けた授業実践の紹介、情報共有等を一層充実させ、授業に生かしていく。

・日常生活の中で、ALTと児童が交流できる場を設け、コミュニケーションが図れるようにする。

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。

【数値指標】

全体アンケート

「私は、宇都宮の良さを知っている。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

①生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。

②教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深めるよう努める。

③児童が宇都宮の良さを実感できるような掲示物・展示物の工夫を図っていく。

B

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|----|-------|-------|
| 児童 | 84.1% | 86.6% |

・児童の肯定的回答は数値目標の85%を上回った。

【次年度の方針】

・生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業において、視聴覚教材、市のホームページ、「宇都宮学」の副読本等を活用したり、校外学習で体験学習を行ったりして、宇都宮の良さを実感させる。

A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。

【数値指標】

全体アンケート

「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」

における肯定的回答

⇒児童 85%以上

⇒教職員 85%以上

①児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。

②各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。

③読み聞かせボランティア「わくわくブック隊」の活動、教師によるブックトーク、図書だよりの発行などを通して、児童の読書意欲を喚起していく。

B

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|-------|--------|
| 児童 | 89.1% | 87.1% |
| 教職員 | 95.8% | 100.0% |

・児童の肯定的回答は目標数値の85%を上回ったものの、昨年度の数値を下回った。教職員の肯定的回答は数値が改善した。

【次年度の方針】

・一人一台端末などのICT機器を協働的な学びに活用できるようにしていく。

・学年に応じた、一人一台端末や図書の利用ができるよう指導を工夫する。

・家庭でのタブレット端末の使用について、学びのツールとして適切に活用できるよう家庭と連携を図る。

・読み聞かせボランティアによる「わくわくブック隊」や、委員会による読み聞かせ活動を、テレビ放送で行うなどの工夫をし、読書指導を継続していく。

| <p>【A2再掲】 A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわり の心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思 いやりの心をもって優し く接している。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上</p> | <p>①体験活動と関連を図った道徳科の授 業を実施し、生命や人権を尊重する心 や、人を思いやる心などを涵養する。 【A2①再掲】 ②人権教育年間指導計画に基づき、全教 育活動を通して人権教育を計画的に 実施する。 【A2②再掲】 ③生活科の学習や社会科の学習におい て、地域の方や高齢者の方と交流する 機会を設け、感謝の気持ちや相手を思 いやる心を育む。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児 童</td> <td>89.1%</td> <td>88.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>91.7%</td> <td>95.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的回答は昨年度とほぼ同等だっ た。教職員の肯定的回答は昨年度をやや上 回った。 【次年度の方針】 ・地域の方々や保護者との交流学習を可能な 限り実施し、交流を通して感謝の気持ちを 育む。 ・人権週間の取り組みや人権標語の掲示を通 して、豊かな人権感覚を育成できるように する。</p> | | R3 | R4 | 児 童 | 89.1% | 88.7% | 教職員 | 91.7% | 95.7% |
|--|---|--|--|----|----|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
| | R3 | R4 | | | | | | | | | |
| 児 童 | 89.1% | 88.7% | | | | | | | | | |
| 教職員 | 91.7% | 95.7% | | | | | | | | | |
| <p>A12 児童は、「持続可能 な社会」について、関 心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災 等の「持続可能な社会」に ついて、関心をもってい る。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上</p> | <p>①4学年・城東タイム「守ろう地球 環境調査隊」や社会科の学習を通し て、環境問題への関心を高め、環境と 調和しながら生きる意識や態度を育 成する。 ②理科、社会、家庭科等においてエネル ギーに関する学習を実践し、節電・節 水、環境問題、防災についての意識や 態度を育成する。 ③東日本大震災をはじめとした過去の 災害の具体事例から学ぶ教材を工夫 し、防災教育を充実する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児 童</td> <td>85.5%</td> <td>84.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>70.8%</td> <td>87.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的回答は昨年度の数値、目標数 値よりも若干下回った。しかし、教職員の 肯定的回答は昨年度より大きく上回り、目 標数値も上回った。 【次年度の方針】 ・「持続可能な社会」について、関心をもたせ るために、身近な給食指導において食につ いて考えさせ、健康や食料の大切さに対す る意識を高める。 ・児童会活動、城東タイム、各教科の学習等 を通して、学校全体で環境問題への関心を 高め、環境と調和しながら生きる意識や態 度の育成を推進する。 ・図書室の SDGs の関連書籍等を活用し、 児童の関心を高め、知識を深める。</p> | | R3 | R4 | 児 童 | 85.5% | 84.7% | 教職員 | 70.8% | 87.0% |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | |
| 児 童 | 85.5% | 84.7% | | | | | | | | | |
| 教職員 | 70.8% | 87.0% | | | | | | | | | |
| <p>A13 教職員は、特別な支 援を必要とする児童 の実態に応じて、適切 な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を 必要とする児童や外国人 児童の実態に応じて、適切 な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p> | <p>①特別支援教育コーディネーターや児童指導 主任を中心に、全校で特別な支援が必要な 児童に関する共通理解を図り、一人一人 のニーズを踏まえた支援を組織的に 行う。 ②特別支援学級の児童はもとより、通常 学級においても、必要に応じて個別の 支援計画を作成し、それに基づく合理的な 配慮を伴う指導に努める。 ③児童指導連絡会を定期的に行い、支援を必 要とする児童について情報を共有す るとともに、支援の方針の共通理解を 図る。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標数値を大きく上回り、100%の肯定的回 答であった。 【次年度の方針】 ・今後も、毎週1回放課後の打ち合わせ時に 児童指導連絡会や特別支援委員会を行い、 支援を必要とする児童について全教職員で 支援の方針等について共通理解を図ってい く。 ・特別な支援の必要な児童については、個別 の支援計画を作成し、それに基づいた指導 をする。また家庭との連絡も密に行ってい く。</p> | | R3 | R4 | 教職員 | 100% | 100% | | | |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100% | 100% | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| <p>目指す学 校の姿</p> | <p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p> | <p>①「信頼関係の構築」を目指し、いじめが許されない行為であることを日常的に指導し、思いやりや助け合い、規範意識等の心を育て、人権感覚の向上や望ましい人間関係を築く力の育成を図る。</p> <p>②いじめ等対策委員会を設置し、組織的に対応し早期解決を図るとともに校内研修を実施しいじめの起こらない環境づくりに努める。</p> <p>③「いじめゼロ強調月間」における取組や「宮っ子心の教育」に係る児童会主体の活動（いじめゼロ集会）等の更なる充実を図り、保護者・地域にも発信していく。</p> <p>④アンケートや教育相談の他に、打合せ等で児童の様子について職員で共通理解を図るなど、児童の実態の日常的な把握に努めるとともに、保護者との連携等を通し、いじめの早期発見と対応に努める。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>児 童</td> <td>96.4%</td> <td>94.4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>80.0%</td> <td>75.5%</td> </tr> </table> <p>・児童の肯定的回答は目標数値の85%を上回ったが、保護者は下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学級活動や道徳、全校集会等で、いじめが許されない行為であることを日常的に指導し、人権感覚の向上を図るとともに、学校だよりや学年だより等を通して、学校の取組について保護者に周知していく。 いじめアンケートを定期的実施し、教育相談等に活用し、児童の実態を日常的に把握・いじめの早期発見、防止に努めると共に、保護者との連携を深めていく。 児童の様子について職員間で情報共有や共通理解を図り、組織的に対応する。 | | R 3 | R 4 | 児 童 | 96.4% | 94.4% | 保護者 | 80.0% | 75.5% |
| | | R 3 | R 4 | | | | | | | | | |
| | 児 童 | 96.4% | 94.4% | | | | | | | | | |
| 保護者 | 80.0% | 75.5% | | | | | | | | | | |
| <p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p> | <p>①児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 【A5①再掲】</p> <p>②教育相談、アンケート、Q-U調査等の結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報共有を図る。</p> <p>③「互いに認め励まし合うクラス」の構築のために、学級活動を推進し、お互いの良さや頑張り等の跡を可視化し、累積していく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>児 童</td> <td>96.6%</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>91.1%</td> <td>86.6%</td> </tr> </table> <p>・児童、保護者の肯定的回答は目標数値の85%を上回ったが、昨年度より下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「積極的に毎日一声かけてかかわり続け」を合言葉に、児童の困りに寄り添い、支援するようにする。 学校としての組織的な対応として、チームとして複数で関わったり、ケース会議で対応を検討したり、情報を職員間で共有したりしていく。 | | R 3 | R 4 | 児 童 | 96.6% | 93.8% | 保護者 | 91.1% | 86.6% | |
| | R 3 | R 4 | | | | | | | | | | |
| 児 童 | 96.6% | 93.8% | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 91.1% | 86.6% | | | | | | | | | | |
| <p>【A13再掲】 A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上</p> | <p>①外国人児童について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>②児童が、互いの国籍や文化の違い等認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。</p> <p>③外国人児童の実態や家庭環境に応じた日本語指導教師の活用を行い、学校・家庭・日本語指導教師の連絡・連携体制の構築を図っていく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・目標数値を大きく上回り、100%の肯定的回答だった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人児童について全教職員で共通理解を行い、組織的な支援を行っていく。 日常の生活や授業の場において、児童相互が国籍や文化の違いを認め合い尊重し合いながら生活できるような指導をしていく。 | | R 3 | R 4 | 教職員 | 100% | 100% | | | | |
| | R 3 | R 4 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100% | 100% | | | | | | | | | | |

目
指
す

学
校
の
姿

A17 学校は、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。
【数値指標】
全体アンケート
「私は、今の学校が好きです。」
における肯定的回答
⇒児童 90%以上
⇒保護者 90%以上

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。
【数値指標】
全体アンケート
「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」
における肯定的回答
⇒児童 90%以上
⇒教職員 90%以上
⇒保護者 90%以上

A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケート
「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」
における肯定的回答
⇒教職員 80%以上

- ① 「やさしく かしく たくましく」の教育目標のもと、活気のある学校づくりを進める。
- ② 帰りの会などで児童同士が認め褒め合う場の設定などを工夫する。
- ③ 縦割り班活動（なかよし活動や清掃活動など）や学年合同活動等及び日常的な交流活動を実施し、児童が意欲をもち、活発に活動できるよう、児童相互や教師が認め励ます場を設け、一人一人の自己有用感や自己肯定感を高める。

- ① 「学ぶ楽しさを味わい、進んで考え参画する子供」の育成を目指し、学習内容に応じて学習形態を工夫したり、一人一人に応じた指導、ニーズに応じた指導を展開したりして、分かる授業づくりに努める。
- ② 「資質能力を高める授業の構築」を目指し、研修や授業実践を通し指導力の向上を図る。（一人一台端末の活用や体験学習などを導入、教材や学習内容を工夫）
- ③ 「パワーアップタイム」での習熟練習や各種検定、ノート指導を実施し、基礎学力の定着・向上を図る。
- ④ 学習の成果や課題について、保護者と日常的に連携を図る。

- ① A L T・少人数指導担当・図書館司書との事前打合せや情報交換の場を設けることで、より効果的な授業や学習法を目指していく。
- ② かがやきルーム指導員・スクールカウンセラーとのコミュニケーションを図る場と時間を設定し、児童理解を深めるとともに、個に応じた効果的な指導法を模索していく。

B

B

B

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|-------|-------|
| 児童 | 91.3% | 85.2% |
| 保護者 | 93.8% | 87.0% |

・児童、保護者とも肯定的回答は数値目標の90%を下回った。

【次年度の方針】

・更に、学校行事や学級活動、児童会活動等において、児童が主体的に活躍したり、活動を振り返ってよさを実感したりできる場や、教師が認め励ます場を設け、自己有用感や自己肯定感を高めていく。

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|--------|-------|
| 児童 | 96.8% | 95.7% |
| 教職員 | 100.0% | 100% |
| 保護者 | 84.7% | 83.1% |

・児童の肯定的回答は数値目標の90%を上回った。保護者は数値目標の90%を下回り、昨年度よりやや下回った。教職員の肯定的回答は100%であった。

【次年度の方針】

・引き続き、学校課題の城東っ子の学び「城東スタイル」を活用した授業の充実、1人1台端末の活用や体験学習等の授業の工夫に努め、日常の各教科指導に生かすと共に、分かる授業を展開する。
・朝のパワーアップタイムの時間の確保と内容の充実を図る。
・個人懇談において、個々の児童の学習の成果や課題について、保護者と共通理解が図れるようにする。

【達成状況】

| | R 3 | R 4 |
|-----|------|------|
| 教職員 | 100% | 100% |

・教職員の肯定的回答は目標数値の80%を大きく上回り、100%であった。

【次年度の方針】

・本年度同様、多様な専門性を有する学校スタッフとの情報交換やコミュニケーションを充実させ、児童理解を深めるようにしていく。
・児童理解を深めることで、引き続き個に応じた効果的な授業や指導法を模索し、実践していく。

| | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|-----|-----|-----|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 目 指 す 学 校 の 姿 | <p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上</p> | <p>①専門性を有する学校スタッフ（図書館司書・学校栄養士・かがやきルーム指導員・学校業務・ALT等）を含めた全職員が学校経営への共通の参画意識を持ち、学校の組織力強化に努める。</p> <p>②教職員が相互に業務内容を理解し合い、それぞれの能力や強みを活かした連携を図りながら、チームとして課題に対応し、業務の効率化に取り組む。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>87.5%</td> <td>91.3%</td> </tr> </table> <p>・教職員の肯定的回答は目標数値の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度同様、全職員が学校経営への参画意識をもち、チームとして課題に取り組み、業務の効率化、充実を図る。 ・教職員が相互に業務内容を理解し合い、それぞれの強みを活かした連携を図れるよう日々情報交換を密にしていく。 | | R 3 | R 4 | 教職員 | 87.5% | 91.3% | | | |
| | | R 3 | R 4 | | | | | | | | | |
| | 教職員 | 87.5% | 91.3% | | | | | | | | | |
| <p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上</p> | <p>①宮っ子チャレンジ時の中学生による「あいさつ運動」や6年生の中学校訪問時における「中学校生徒会主催の学校紹介」等、小学生と中学生が交流を図れる活動を工夫し、地域社会の一員として互いにつながりあっていこうとする意識を高めていく。</p> <p>②「中学校の先生の乗り入れ授業の実施」「各教科の9年間を見通した年間指導計画の実践」「授業力向上のための小中合同研修の推進」等により、9年間を見通した学力向上の推進を図る。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>74.3%</td> <td>73.6%</td> </tr> </table> <p>・保護者の肯定的回答は、目標数値や市の平均を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の先生による乗り入れ授業や中学校訪問、中学生のボランティア受け入れ、あいさつ運動等の連携事業をさらに充実させていく。 ・小小間・小中間の「読書ゆうびん」事業を、今後も継続して行う。 ・学校だよりやHP等を通して、小中一貫の取組を、保護者へ情報発信する。 | | R 3 | R 4 | 教職員 | 100% | 100% | 保護者 | 74.3% | 73.6% | |
| | R 3 | R 4 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100% | 100% | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 74.3% | 73.6% | | | | | | | | | | |
| <p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上</p> | <p>①地域の学校として、地域協議会の学校支援ボランティアや地域の各種団体との連携・協力のもとに、読み聞かせ、体験活動などの取組を継続し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</p> <p>②地域人材の協力を得た授業や関係機関、地域の企業などによる出前授業を各学年1回以上実施する。 * 旭学校園共通目標</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>82.6%</td> <td>77.0%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0%</td> <td>83.3%</td> </tr> </table> <p>・保護者と地域住民の肯定的回答は、昨年度より低下し、目標数値である85%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターとの連携を図り、学校支援ボランティアや外部講師を活用した学習活動を年1回以上各学年実施する。 ・活動の様子をHPや各種便りを活用し、保護者及び地域へ積極的に発信していく。 | | R 3 | R 4 | 保護者 | 82.6% | 77.0% | 地域住民 | 100.0% | 83.3% | |
| | R 3 | R 4 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 82.6% | 77.0% | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0% | 83.3% | | | | | | | | | | |
| 目 指 す 学 校 | <p>【A22 再掲】 A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上</p> | <p>【再掲】 ①地域の学校として、地域協議会の学校支援ボランティアや地域の各種団体との連携・協力のもとに、読み聞かせ、体験活動などの取組を継続し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</p> <p>②地域人材の協力を得た授業や関係機関、地域の企業などによる出前授業を各学年1回以上実施する。 * 旭学校園共通目標</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>82.6%</td> <td>77.0%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0%</td> <td>83.3%</td> </tr> </table> <p>・保護者と地域住民の肯定的回答は、目標数値である85%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域人材バンク」を活用した授業や地域協議会と連携した教育活動を積極的に実施していく。 ・保護者や地域の方々、関係機関と連携し、生活科や総合的な学習の時間、学校行事等を実施していく。 ・活動の様子をHPや各種便りを活用し、保護者及び地域へ積極的に発信していく。 | | R 3 | R 4 | 保護者 | 82.6% | 77.0% | 地域住民 | 100.0% | 83.3% |
| | R 3 | R 4 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 82.6% | 77.0% | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0% | 83.3% | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|---|--|--|----|----|-----|-------|--------|-----|-------|--------|------|-------|--------|
| <p>の姿</p> | <p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p> | <p>①毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険個所については迅速な改善や修繕に努める。</p> <p>②危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練、不審者対応訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。</p> <p>③熱中症対策予防対策、インフルエンザ蔓延予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>87.9%</td> <td>90.5%</td> </tr> </table> <p>・教職員、保護者とも目標数値の85%を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全点検を実施し、危険個所の改善や修繕に努めるとともに、ホームページ等を通して実施状況を保護者に周知する。 実際場面で生きて働く訓練となるように実施方法を工夫するとともに自己判断力及び危険回避能力を高める指導を学級活動等で行っていく。 気温・湿度・気流状況を定期的に確認し、適切な保健指導や管理に努める。 (新型コロナウイルス感染症の対策も含む。) | | R3 | R4 | 教職員 | 95.8% | 100.0% | 保護者 | 87.9% | 90.5% | | | |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 95.8% | 100.0% | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 87.9% | 90.5% | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>【A10再掲】 A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上</p> | <p>【A10①再掲】</p> <p>①児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。</p> <p>②各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。</p> <p>③読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>89.1%</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>・児童、教職員ともに肯定的回答は目標数値の85%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ITC支援員と連携を図り、一人一台端末などのICT機器を積極的に活用していく。 学年に応じた一人一台端末や図書の利用ができるよう、環境を整備する。 調べ学習の支援をするなど、学校図書館司書の授業参加を積極的に促す。 学級担任と学校図書館司書が連携を図り、図書資料を用いた授業や、読書活動を充実させる。 | | R3 | R4 | 児童 | 89.1% | 87.1% | 教職員 | 95.8% | 100.0% | | | |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | | | | | |
| 児童 | 89.1% | 87.1% | | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 95.8% | 100.0% | | | | | | | | | | | | | |
| <p>本校の特色・課題等</p> | <p>B1 学校、保護者、地域住民は、互いに教育力向上に取り組み、児童の指導にあたっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校、保護者、地域住民は、互いに教育力向上に取り組み、児童の指導にあたっている」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上</p> | <p>①地域の学校として、フリー参観、地区懇談会、地区環境点検、親学講座など、保護者、地域住民が参加する取組により、地域の教育力を高めながら児童の指導に当たる。</p> <p>②同様に、地域の各種団体や学校支援ボランティアの支援を得た取組を継続し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>87.0%</td> <td>80.7%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>91.7%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>・保護者の肯定的回答のみ、目標数値の85%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校HPや学校だよりなどの各種文書により、学校の取組を、保護者や地域へ積極的に情報発信し、学校教育への理解と協力を促す。 保護者や地域などに対して、フリー参観や学校行事への参加の機会を増やし、開かれた学校づくりに努める。 | | R3 | R4 | 教職員 | 100% | 100% | 保護者 | 87.0% | 80.7% | 地域住民 | 91.7% | 100.0% |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100% | 100% | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 87.0% | 80.7% | | | | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 91.7% | 100.0% | | | | | | | | | | | | | |

| <p>B2 学校や社会のきまりを守り、友達と仲良く生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校や社会のきまりを守り、友達と仲良く生活している」 における肯定的回答 ⇒児童 90%以上 ⇒教職員 90%以上 ⇒保護者 90%以上</p> | <p>①「豊かな心の育成」を図るために、道徳の授業のより一層の工夫改善を図り、さらに意識の向上や道徳的実践力の向上を図る。</p> <p>②一人一鉢栽培や縦割り班清掃などの奉仕活動、生命や自然、地域を大切に、他を思いやる心を育む。</p> <p>③いじめゼロ運動に取り組み、生命や人権を尊重する態度の育成を図る授業や児童集会を実施する。</p> <p>④「かがやけ城東っ子」運動を推進し、善行児童の表彰や掲示により、よい行いを全校に広める。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1023 147 1497 309"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>94.4%</td> <td>95.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94.7%</td> <td>96.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての肯定的回答は目標数値の90%を上回ったうえ、昨年度の数値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度、見直しをした「城東っ子の約束」をもとに、全職員が同一歩調で児童指導に当たるようにする。 週末に、生活目標に対する評価及び反省をさせるとともに、次週に反省を生かせるようにする。 引き続き、学級活動や道徳、全校集会等で、日常的に指導し、人権感覚の向上を図るとともに思いやりのある行動を奨励していく。 | | R3 | R4 | 児童 | 94.4% | 95.7% | 教職員 | 100.0% | 100.0% | 保護者 | 94.7% | 96.6% |
|---|---|---|--|----|----|----|-------|-------|-----|--------|--------|-----|-------|-------|
| | R3 | R4 | | | | | | | | | | | | |
| 児童 | 94.4% | 95.7% | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0% | 100.0% | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 94.7% | 96.6% | | | | | | | | | | | | |
| <p>B3 自分の健康や安全に関心を持ち、健康的な生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「自分の健康や安全に関心を持ち、健康的な生活をしている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上</p> | <p>①健康票や検定表の活用を進めたり、各種記録を累積し成長の様子が分かるようにしたりするなどして体力向上や、健康への関心・意欲を高める。</p> <p>②自他の安全を守り、実践的な理解を深められるように、登下校の安全確保や地域団体合同の防災訓練、避難訓練、健康・安全への出前授業を、家庭や関係機関等と連携し実施する。</p> <p>③防災教育や環境問題など、社会的関心の高い話題を取り上げた行事を計画し、保護者、地域と一体となった取組を進めていく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1023 768 1497 929"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>95.4%</td> <td>94.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>92.1%</td> <td>92.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童、教職員の肯定的回答は、目標数値85%を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き「健康票」「元気っ子体力テスト結果」等の記録票を活用し、健康への意識の向上を図る。 防災教育や環境問題を取り上げた行事を計画し、体験活動を取り入れながら、実施していく。 手洗いの徹底等、自分の健康管理への関心を高める指導を継続して行う。 | | R3 | R4 | 児童 | 95.4% | 94.9% | 教職員 | 95.8% | 100.0% | 保護者 | 92.1% | 92.4% |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | | | | |
| 児童 | 95.4% | 94.9% | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 95.8% | 100.0% | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 92.1% | 92.4% | | | | | | | | | | | | |
| <p>B4 児童は、分かったことや気付いたことを、相手に分かりやすく伝えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、分かったことや気付いたことを、相手に分かりやすく伝えている」 における肯定的回答 ⇒児童 80%以上 ⇒教職員 80%以上</p> | <p>①学年の発達段階に応じた「話すこと」の技能指導、自分の考えや意見を整理し考える時間の確保、根拠を明確にしながら発表できる場の設定など、分かりやすく話す力を高める指導を推進する。</p> <p>②互いの考えを発表し合う活動を設定し、グループや全体で学び合う学習の工夫に努める。</p> <p>③朝の会や国語の授業における音読、発表、コミュニケーションの仕方などの指導を計画的に実施して、表現力の育成を図る。</p> <p>④様々な表現・発表方法を身に付けるために、話す・書く技能やプレゼンテーションの技能を高める。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1023 1335 1497 1496"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>77.8%</td> <td>79.6%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>83.3%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的回答は数値目標の80%をやや下回ったが、昨年度の数値を上回った。教職員の肯定的回答は数値目標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年の発達段階に応じた「話すこと」「書くこと」の資質・能力を高める指導を充実させる。「自分の考えや意見を書いて整理し、まとめるための時間の確保」「根拠を明確にしながら伝え合える場の設定」「1人1台端末を活用した発表の工夫や協働的な学習の推進」など、表現力を高めるための指導をさらに充実させる。 | | R3 | R4 | 児童 | 77.8% | 79.6% | 教職員 | 83.3% | 100.0% | | | |
| | R3 | R4 | | | | | | | | | | | | |
| 児童 | 77.8% | 79.6% | | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 83.3% | 100.0% | | | | | | | | | | | | |

7〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】（教育計画）

1 教職員が主体性をもち、協力して取り組む学校組織の構築

- ・教職員の特性を生かした学年構成や校務分掌等により、組織的な学校運営及び教職員同士の同僚性を発揮した明るく活気のある学校づくりができ、学校のチーム力向上につながった。
- ・金曜日を短縮日課にして、月・水・金の放課後の時間を教職員の研修や会議、情報交換や教材研究の時間等として活用したことにより、教職員の資質の向上や児童に寄り添った支援につながった。

2 地域・家庭・学校が連携協力した開かれた学校づくりの推進

- ・PTAや地域協議会による立哨指導により、安全確保や安全指導を継続的に実施できており、連携協力が図られている。
- ・地域協議会による花壇整備や環境ボランティアによる掲示物作成や作品展示、トイレ清掃、全校児童による「一人一鉢運動」の実施や、校舎内外の危険箇所等の修繕、施設・設備等の計画的な整備・修繕など、学校環境整備に努め、それぞれ成果につながった。

【児童指導】

1 児童のよさが生き、進んで明るく元気なあいさつができる児童の育成

- 交通指導員の方や地域の方からは、「あいさつ」について褒められる機会が増え、休み時間の廊下等でも「こんにちは」の声が気持ちよく響くなど、全体的に向上している。
- ・代表委員会で話し合われたあいさつのキャッチフレーズ「大きな声で、目を見て、先に」も児童の間に定着してきた。しかし、まだ個別にはあいさつの声が小さい（できない）児童もおり、今後も、相手に伝わるあいさつの仕方等の指導や、教職員による率先したあいさつに努めていきたい。

2 ルールやマナーを守り、互いを思いやり尊重し合って行動できる児童の育成

- ・学級活動や帰りの会での「友達のよさ」の発表や「宮っ子心の教育表彰」による称賛などを継続してきた。今後とも、ルールやマナー遵守の指導を充実させるとともに、児童一人一人のよさを認め合える温かな雰囲気構築していきたい。
- ・いじめが許されない行為であることを学級活動や学校行事等を通して日常的に指導することにより、望ましい人間関係構築につながられた。今後とも、いじめはあるものという認識のもと、発見や報告があった場合に、全校体制で迅速かつ丁寧にその解消に向け対処できる体制の点検・整備に努めていきたい。

【学習指導】

1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・本年度も、教科の特性や児童の理解の程度に応じた学習形態や指導法の工夫に努めるとともに、漢字・計算検定等で基礎的・基本的な学力の確実な定着を図ってきた。また、個に応じた支援、指導、評価をし、児童の学力向上に努めてきた。その成果として、とちぎっ子学習状況調査や市定着度調査においても、概ね、県や市と同等の結果を収めることができた。
- ・引き続き、ノート指導に力を入れ、よい書き方の例を示したり、コンクールを実施したりして、大切な事柄や自分の考えが表現できるように指導することで、学習への意欲を高めてきた。
- 家庭学習を奨励し、宿題だけでなく自主学習に積極的に取り組むよう、指導や支援を継続してきた。今年度も、1人1台端末を活用した学習を取り入れ、学習内容の定着を図るとともに関心意欲の喚起を図ってきた。

2 学ぶ楽しさを味わい、学びを深める授業の構築

- ・「考える楽しさを味わい、主体的に学ぶ子供の育成～思考力・判断力・表現力を育む「城東スタイル」による授業実践～」を学校課題の研究テーマとし、研修を重ね、授業実践を通して教師の指導力の向上を図ってきた。学びを深めるための学習スタイルを学びの「城東スタイル」として児童に示し、5年間継続して学習指導に努めてきた。児童が意欲をもって取り組める学習課題を設定し、試したり、考えを表したり、思いを伝え合ったりするように学習活動を工夫し、学びを深めることができるような授業を目指してきた。
- 探究的・課題解決的な学習、体験的な学習を通して、児童が自主的・自発的に学び、学習の成就感や達成感を得ることで学ぶ楽しさを実感することができる、心豊かな児童の育成に努めてきた。

【健康・安全】

1 健康的な生活習慣を身に付け、健康安全を目指す城東っ子の育成

- ・新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけを継続して行ったことにより、手洗いの習慣化など、学校全体の健康的な生活に対する意識が向上した。児童の意識の高まりとともに、生活習慣が定着してきているものと考えられるため、来年度も継続して習慣化を図りたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行により、食育や安全教育等、行事の実施方法について変更があったものの、学校栄養士や養護教諭を中心として全職員で感染症に対する対策を行い、計画的に実施することができた。今後とも、状況に合わせてながら、指導・啓発の充実を図っていきたい。

- ・スクールガードや地域の方の見守りによる功績とともに、登下校の安全に関わる指導や、避難訓練、日常の指導を通して、児童の安全についての関心や意欲が高まっている。今後も引き続き児童の安全に対する判断力、危険予知能力の育成を図っていききたい。

8 学校関係者評価

- ・A3「児童はきまりやマナーを守って生活している」が児童・教職員・保護者ともに昨年度の数値を上回っていてよい。A4「児童は時と場に応じたあいさつをしている」が児童・地域住民とも昨年度の数値を上回っている。登・下校時にあいさつをすると返事が返ってきてうれしいです。A9「児童は宇都宮の良さを知っている」が数値目標を上回っていてよかった。これからも宇都宮の良さを具体的に知らせてほしい。
- ・A5「児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」A7「児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している」の教職員の数値が、昨年度と比べ大きく改善したのは、意識の違いなのか。それとも何か違う活動をしたのか。
- ・A14「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」の保護者の数値が低い。学校の取組をアピールすることも大切。次年度の方針にもあるように、工夫した周知方法を検討し、実施してほしい。また、いじめが少なからず存在しているのではないかと保護者は感じているように思える。次年度の経過を見ていきたい。次年度上回ることを期待する。
- ・A17「学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」A18「教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」保護者の数値が低いのが気になる。周知等を検討してはどうか。次年度上回ることを期待する。
- ・A21「学校は「小・中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」A22「学校は地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している」A23「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる」の保護者の数値が低い。コロナによるコミュニケーション不足なのか。活動等の周知不足なのか。どちらにしてもコロナによる影響があるため、次年度に期待する。また、A22の地域住民の数値が目標数値を下回ったのは、コロナ禍のため、地域と保護者・学校の距離ができてしまっているのかと思う。

9 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・課題となっていた質問項目「A3：生活のきまりやマナー」については、児童・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答割合が向上している。日々の指導の徹底や家庭との連携、学校だより・保健だより等による発信など、保護者の方と共に取り組んできた成果として、児童の意識が高まり、肯定的回答割合が昨年度より上回ったと考えられる。誰もが安心・安全に学校生活を送れるよう、今後も重点課題として、継続して指導・支援に努めていきたい。
- ・課題となっていた挨拶については、質問項目「A4：時と場に応じたあいさつ」において、児童・保護者・地域住民の肯定的回答割合が向上している。児童会を中心とした「あいさつ運動」や中学校と連携した地域学校園の「あいさつ運動」、登下校の立哨指導における指導、交通指導員や安全ボランティア等、地域の人々の支援による成果が表れたものとする。引き続き、「明るいあいさつ」を合言葉に、時と場に応じた挨拶や心の交流も含めたよりよい挨拶を推進したい。
- ・質問項目「A12：持続可能」では、教職員の肯定的回答割合が昨年度を大きく上回った。教職員自身がSDGs（持続可能な開発目標）等の取組への理解を深め、各教科の授業や各教育活動に反映させるとともに、環境問題等に関する学習環境を整備するなどしたため、児童の意識も高まってきている。
- ・質問項目「A14：いじめ対策」では、保護者からの肯定的回答割合が目標数値に届かなかった。「いじめ対策の周知」「取組の姿勢」の積極的な発信を継続し、保護者からの理解を得られるように努めていきたい。また、今後も「いじめは絶対許されない行為である」という認識のもと、いじめのない学校づくりを推進していきたい。
- 質問項目「A5・A7：夢に向かってあきらめずに粘り強く取り組む」では、児童・教職員ともに目標数値を上回った。子どもたちが夢や目標をもって、粘り強く取り組んだり、努力したりしている姿がうかがえる。今後もキャリアパスポートを有効に活用し、「なりたい自分になるために、がんばる力を身につけよう」を合言葉に、児童の目標が達成できるよう支援を継続し、自己肯定感を高めていきたい。
- 今年度、「A21：地域学校園の取組」「A22：地域の教育力」「A23：地域との連携・協力」において、保護者・地域住民の方々からの肯定的回答割合が目標数値に届かなかった。今後も、地域に信頼される学校づくりに努め、より一層、家庭・地域との連携協力を図っていききたい。